

令和5年度 学校評価(学校関係者評価)報告書

雲仙市立鶴田小学校

学校教育目標	<p>【学校教育目標】 かがやけ つるたつ子 「地域に開かれた教育課程」を常に意識して、家庭・地域社会と連携し、学校が担う教育的役割を十分に果たす。そのために、全職員がチーム一丸となって、学校教育目標の具現化に努める。</p> <p>目指す児童像 ○『じゅくり』 かんがえる子:進んで学び、しっかり考える態度 ○『どんどん』 がんばる子:最後までやりぬく強い心と体 ○『にっこり』 やさしい子:相手を思う心とやさしい笑顔 ○『きびきび』 けじめのある子:きまりを守る基本的生活習慣</p>	<p>学校経営方針</p> <p>法令や学習指導要領の趣旨、長崎県及び雲仙市の教育方針に則り、本校児童の実態及び教育の今日的課題、保護者・地域・社会の要請を踏まえて、一人一人にしっかりと向き合い、予測困難な社会の変化に対応できる心身共にたくましい児童の育成、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを切り拓こうとする意欲をもつ児童の育成に努める。</p> <p>大切にしたい教師の3つの基本 (1)教師としての使命感に燃え、研修と実践に励む教師(授業力) (2)人間性豊かで、子どもとの心のふれ合いを深める教師(生徒指導力) (3)自らの職務を誠実にやり、誰からも信頼される教師(人間関係構築力)</p>
自校の現状	<p>○素直で優しい心をもった子供たちである。 ○大きな生活指導上の問題がなく、基本的に落ち着いた学校生活を送っている。 ○保護者や地域住民が協力的である。 ●あいさつや返事が小さい、本校で一番の課題である。 ●学力は個人差が大きく、個別の指導を要する児童が多い。自主的・協働的な学習の基本となる学習習慣や表現力を鍛える必要がある。</p>	<p>重点努力目標</p> <p>(1)知…学力向上のための工夫ある取組 ○日々の授業の充実・改善(一人一人の子どもに向き合う意識の向上) ○基礎・基本の学力の定着・向上(RPDCAサイクルの確立) ○読書活動の充実・読書の習慣化(読書の質的向上・語彙力の向上) (2)徳…豊かな心(人の気持ちが分かるやさしさや思いやり) ○特別の教科 道徳の時間の充実 → 全教育活動での道徳教育の推進 ○命や人権を大切に指導と思いやりを形(言動)に表す指導の充実 ・はっきりした声であいさつや返事、基本的生活習慣の徹底 ○特別支援教育の視点に立った児童理解(全児童・保護者・地域の理解推進) (3)体…健やかな体(たくましく生き抜くための体力・気力の向上) ○体育授業等の充実…基礎体力の向上・継続的な運動の推進 ○新型コロナウイルス感染症対策の徹底、ポストコロナへの意識 ○自分のめあてや仕事を最後までやりぬく責任感と達成感を育てる指導。</p>

※4

領域	重点度	番号	評価項目(努力事項)	達成度	自己評価		学校関係者評価	
					成果又は課題	評価	意見・助言等	評価
学校教育活動の改善と充実	★	①	学力向上に向けた対策の充実、めあてとまとめが残る授業づくりやICT活用の充実	◎	①学力向上対策として、主体的で対話的な深い学びに向けた取組やめあてとまとめが残る授業づくりの取組は確実に進んでいる。保護者アンケートでも学校の学力向上の取組への評価は肯定的評価98%と高い。電子黒板の活用だけではなく、タブレット端末の授業での活用も進んでいる。今後も更に有効活用を推進し、個に応じた学びの深化を進めていきたい。		○授業を参観させていただいたが、各学年分かりやすく、わきあいあいとした雰囲気です。素晴らしい。○先生方の取組に感謝したい。○読み聞かせの会ぐれよんさんの読み聞かせがすごく楽しみで、本の楽しさを知ってくれて良いと思う。	
	★	②	校内研修(国語科授業改善)への積極的取組と学び合う集団(OJT)づくり	◎	②研究主任を中心に、国語科の授業研究を進めてきた。今年度は、それぞれの教員の研修(初任者研修・中堅教員研修・15年経過教員研修・エウアンジェリスト研修等)での学びを生かし、職員集団の中でOJT(On-The-Job-Training)がうまく機能していた。		●読書の時間を家庭でも位置づけたいと思う。(家庭教育の充実) ●読書、本を読む時間も確保できたらいいなと思う。 ●家庭で本を読む人が58%と低いのが気になる。	
		③	読書活動の推進	○	③読書活動においては、図書委員会を中心とした全学年での取組や各学級における読書活動の取組を推進し、貸出冊数の伸びにもつながった。しかし、家庭での読書は、依然、保護者アンケートでは肯定的評価58%と低い評価であり、また、選書についてのご意見もある。今後の課題として受け止め、対策を講じたい。	A		A
		④	児童の体力づくりと健康教育の充実	◎	④児童の体力づくりと健康教育については、保護者・教職員アンケートのどちらも肯定的評価100%と高い評価であり、充実している。学校保健委員会の取組、それを受けての学級集会での取組等の効果や、運動会・持久走大会への育友会の協力や保護者の支えもある。学力と共に個人差に応じた対応を心掛け、更に体力の向上、健康教育の充実を図っていきたい。			
安全・安心な学校づくりの推進	★	①	基本的生活習慣の指導と積極的生徒指導の充実	◎	①基本的生活習慣の指導や積極的生徒指導の充実では、保護者・教職員アンケートの数値も高い。ただ、学校の指導に関しては高評価でありながら、「子どもは、進んで明るいあいさつができていないと思う。」「子どもは、気持ちのよい返事や言葉遣いができていないと思う。」「子供が主語になる項目は90%に満たない。学校の取組や指導のご理解はあるので、子供の姿で保護者に示していけるよう、今後も指導を充実させたい。		○学校へ来た時、教室へ入る時など、子どもたちの挨拶が素晴らしい。 ○いじめも重大なものがないので安心した。 ○不登校が0人は素晴らしい。 ○いじめを認知的なことだと思えるので、聞き取りは大切だと思った。今後も続けることで、関係ないと思える人が減ってくるのではないかとと思う。 ○いじめの関しては、非常に難しい問題だと思うので、今後もじっくり話し合いをしてほしい。	
	★	②	いじめの根絶 人権・平和教育の推進(いじめ防止基本方針に基づく取組)	◎	②いじめ防止については、6月に実施した保護者アンケート及び毎学期実施する児童へのアンケートや教育相談などで早期発見、早期解決に心がけている。1学期の認知件数は24件であったが、2学期の認知件数は4件となり、いずれも解決している。特にいじめの積極的認知を行い、児童の様々な問題に丁寧に対応し、早期解決、継続観察を行っている。また、平和集会・人権集会を通して、人権・平和教育も充実させている。今年度は、外部講師として瑞宝太鼓の方を招いて、演奏及びお話をいただいた。③の特別支援教育の視点からインクルーシブ教育の学びもできた。	A	●学童で、「学校へ行きたくない」の発言があったことは心配です。見守ってほしい。 ●学校周辺に花があると学校全体が明るくなるのではないだろうか。 ●校庭の遊具が使えないの多いのが気になる。見直してほしい。 ●遊具の修理が必要。 ●遊具がほとんど使えていないことに驚いた。やはり小学生は遊具等で遊んでいるイメージがあった。 ●学校安全環境づくりに市教委と共に努力してほしい。特に、遊具の整備等。	A
		③	特別支援教育の充実	◎	③特別支援教育に関しては、特別支援コーディネーターを中心に特別支援教育への理解を深める取組を実施した。新入学説明会での特別支援に関する説明など積極的に周知、啓発活動を実施している。保護者や関係機関とも連携を図り、個別の支援や指導も充実してきた。			
		④	安全指導と安全教育の充実	◎	④安全指導や安全教育についても保護者アンケートでは100%肯定的評価をいただいている。今後も安全点検の確実な実施や安全教育・指導を充実させていきたい。			
働き方改革の推進	★	①	組織力を生かした協働体制の充実	◎	①組織力を生かした協働体制の充実に向けた取組が1学期末反省を受けて、徐々に気運が高まり教職員アンケートの結果として肯定的評価が100%に達した。		○授業参観を見させていただき、子どもたちがみんな明るく楽しそうに勉強していたので、先生方が素晴らしいからなのではと思った。 ○先生方が一生懸命に指導してくださり、子どもたちは幸せです。無理しないよう頑張ってください。 ○人数が少ないので、先生方、子どもたち、地域の方も含めて密な関係性ができていると思う。 ○先生方も体の事、家の事、色々あると思います。 ○教職員のコミュニケーションが円滑であるはずらしい。	
	★	②	職場環境の整備と充実	◎	②職場環境の整備については、毎学期の安全衛生推進委員会の報告や実践を通して充実を図っている。職場環境について、後期の教職員アンケートの結果で、肯定的評価が100%になった。職員室では円滑なコミュニケーションを基礎とした話しやすい雰囲気になり、今後も職場環境を整備し、充実した働きがいのある職場を構築していきたい。			
		③	自己研修の充実(目標管理制度との関連)	◎	③新たな人事評価制度が実施されたことについて個々の取組は目標管理として計画的、系統的に取り組んでいる。それぞれのステージに基づいた自己研修も充実している。	A		A
		④	児童一人一人と向き合う時間の確保	◎	④業務の精選とICT機器等を利用した業務の効率化を図り、児童一人一人と向き合う時間の確保を進めている。1学期からすると、確実に働き方改革が進んでいる。今後も、ワークライフバランスを考えた働き方改革が推進できるよう対策を講じていきたい。		●教職員は働きすぎだとよくメディアでも聞く。働き方改革をしてほしいと願う。	

※4 学校関係者評価として、A(十分に達成できている)、B(概ね達成できている)、C(あまり達成できていない)、D(全く達成できていない)で評価する。